

まことに ゆ・た・かな心

横須賀市立ろう学校 中高等部通信 第15号

平成29年(2017年)11月20日

練習の成果が出せました

より良いものを目指して何度もくり返したステージ練習。台本に書かれていない細かい演技を加え、セリフを言う人と他の人との一体感を醸し出せるようにしました。

毎朝、K先生を中心に手話ソングの練習を行い、歌い出しがそろそろようにしましたね。

M先生は練習中、欠席生徒や出張教師の代わりにいろいろな役を完璧にこなしたので、驚きました。

桃太郎のわらじは手作りです。Y先生はいろいろな衣裳を作ってくださいました。A先生が猿の着ぐるみを着ることができると、心配でした。

鬼太郎、ウルトラマンタロウ、T先生と桃太郎の会話は、W先生と中2が何度も練り直しました。

乙姫に変身した亀と浦島太郎とのやり取りも、S先生と中1の演技のタイミングが合うように、練習を重ねました。

金太郎役の高2の照れた演技は秀逸でした。衣裳のもんぺが切れていたのは、熊との相撲の稽古の勲章でしょうか。

ロボット鬼は練習のたびにロボットらしくなりました。KR先生は技術室に連日こもっていました。

ピコ太郎の登場は、会場がとても盛り上がり、拍手が起こりました。高3は3種類の付けひげを作り、その中からお気に入りを選びました。

桃太郎の最後のセリフは、中高等部4人の生徒へのメッセージでもありました。

人生は紙飛行機みたいにどこへ飛んでいくかわからない。だけど、そのとき、そのときで力を合わせて頑張れば、きっとうまくいく！



かしわ祭大成功